

ミンク資料（北海道ブルーリストより）

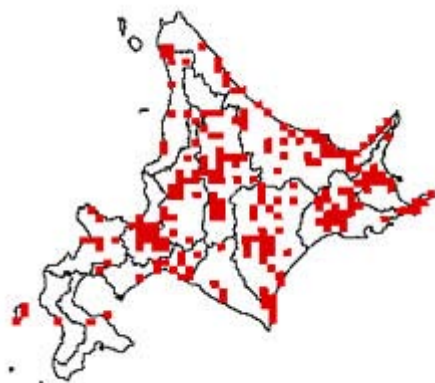
分類	目名	ネコ
	科名	イタチ
	種名（亜種名：*）	ミンク
	学名	<i>Mustela vison</i>
カテゴリー区分（ ）	A B C D E h K	

* カテゴリーAは、すでに定着して影響が報告されているもの

移入の経緯	原産地	合衆国西南部以南を除く北米一帯（アラスカ、カナダを含む）
	移入年代	昭和3年11月に農林省がアメリカ合衆国から北海道に4頭を輸入したのが最初。野生化の時期は不明だが、1950年代後半から逃亡による野生化が始まり、1960年代中頃には定着したと考えられる。
	初報告	1982年
	全国分布	北海道
	道内分布	全道に分布するが、海岸部をはじめとする水辺に多く、山地にはほとんど生息しない。
	移入の原因	毛皮養殖用飼育個体の逃亡・遺棄
種の生態学的特性	生活史型	母子関係は2ヶ月あまり続き、子は秋までに成体と同サイズとなるが、0才、1才の生存率は著しく低いものと予想される。
	食性	ノネズミ、鳥類、魚類、甲殻類を捕食
	形態	オスは、頭胴長45cm、尾長36cm、体重1kg。 メスは、頭胴長36cm、尾長30cm、体重0.7kg。
	繁殖形態	飼育下では晩秋に交尾し、翌春に4~5頭の子を出産。野生化個体の資料からは、3月頃に交尾して5月中・下旬に5~7頭の子を出産すると推定される。メスの繁殖率は高く、成体は毎年繁殖すると推定される。
	生息環境	河辺ヤナギ林や湿地林を中心とする森林・ササ食性・水田。水辺を好む。
	特記事項	
影響	影響の種類（ ）	上位捕食者としての影響
		植生などへの影響
		競合・駆逐の可能性
		交雑による遺伝的攪乱
		在来生物への病気・寄生虫の媒介
		農林水産業などへの影響
		人の健康への影響
	対策	平成6年より狩猟獣指定。
特記事項		
分布図（ ）	有り（1985年当時） ・ 無し	
写真またはイラスト（ ）	有り ・ 無し	

参考文献

1. 阿部永ほか 1994 日本の哺乳類：東海大学出版会
2. 野生生物保護対策検討会移入種問題分科会 2002 移入種（外来種）への対応方針について
3. 自然環境研究センター 1998 野生化哺乳類実態調査報告書
4. 北海道猟友会 「野生ミンクの生態と被害調査」 1982 猟友会報：北海道猟友会 19：22-26
5. 犬飼哲夫 「北海道の野生化ミンクについて」 1983 猟友会報：北海道猟友会 20：14-16
6. 北海道生活環境部自然保護課 1985 野生動物分布等実態調査報告書 - 野生化ミンク -
7. 浦口宏二 「ミンク」 1996 日本動物大百科 哺乳類：平凡社 139p.
8. 哺乳類保護管理専門委員会 移入哺乳類への緊急対策に関する大会決議 1999 哺乳類科学 39：115-129
9. 北海道開拓記念館 「野幌丘陵とその周辺の自然と歴史」 1981 北海道開拓記念館研究報告 6
10. 榎本岩郎 「高級毛皮獣ミンク」 1964 日獣会誌 17：450-452



ミンク分布図



ミンク写真